

船舶事故等調査報告書

平成24年3月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011横第188号	
事故等種類	衝突（防波堤）	
発生日時	平成23年10月29日（土） 18時00分ごろ	
発生場所	千葉県千葉港市原防波堤 千葉県市原市所在の千葉港市原防波堤灯台から真方位058° 700m 付近 （概位 北緯35° 33.6′ 東経140° 04.5′）	
事故等調査の経過	平成23年10月31日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 乗組員等に関する情報 死傷者等 損傷	
	モーターボート ジャック、1.5トン 232-40592千葉、個人所有 船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 なし 船底外板に擦過傷、船体中央部内殻に亀裂、プロペラに欠損	
事故等の経過	本船は、船長が、1人で乗り組み、千葉港内で釣りを行っていたが、釣り場所を変更しようとして航行していたところ、船首目標とするため、遠方の陸上構造物を探すことに意識を集中して千葉港の市原防波堤（以下「防波堤」という。）南方沖を北進し、平成23年10月29日18時00分ごろ防波堤の中央付近に衝突して乗り揚げた。 船長は、GPSプロッターによる船位の確認を行っていなかった。 本船は、後日ボートによりマリナーにえい航された。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北東、風力 3、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の初期、潮高 約2m 日没時刻：16時49分ごろ	
その他の事項	海図によれば、陸上構造物は防波堤の約5km 北方にあり、地上高が125mである。 防波堤は、平成23年東北地方太平洋沖地震と同年の台風15号の影響により、高さが約60cm 沈下しており、当時の潮汐から推算すると海面上の高さは約90cmであった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、千葉港の防波堤南方沖を北進中、船長が、遠方の陸上構造物を探すことに意識を集中して航行していたことから、防波堤に気付かず、防波堤に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、千葉港の防波堤南方沖を北進中、船長が、遠方の陸上構造物を探すことに意識を集中して航行していたため、防波堤に気付かず、防波堤に衝突したことにより発生したものと考えられる。	

参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・GPSプロッターを有効に活用して船位を確認すること。・全周の適切な見張りを行うように心掛けること。
----	---